

Do you know MAIWAI?



まいわい
**万祝を
知るブック**

豊かな海が生んだ着物「万祝」

三方を海に囲まれた房総半島は、豊かな魚介に恵まれ、古くから漁業が盛んでした。江戸時代後期、この海の恵みから生まれた文化が「万祝」です。

万祝は大漁を祝って作られた着物で、豊かな海の恵みを喜び、誇る気持ちを表しています。



万祝展公式キャラクター
ネロル

千葉県立中央博物館
NATURAL HISTORY MUSEUM AND INSTITUTE, CHIBA

大漁の祝い



地曳網絵馬 天保14年（1843）玉前神社（いすみ市日在）所蔵



大日本物産図会 同国鯉網之図 千葉県立中央博物館所蔵

昔から漁業にはたくさんの人が関わっていたんだね！



江戸時代後期、九十九里や銚子では周期的なイワシの大漁が発生したため、大漁祝いの行事が習慣として定着しました。その一つが「万祝」です。

そもそも「万祝」は「大漁祝い」の意味でしたが、大漁のお祝いに晴れ着を作って着る風習が広まると、その着物を万祝と呼ぶようになったと考えられます。

万祝は雇用主である船主（^{ふなぬし}網元）が^{あみもと}紺屋（染物店）に注文し、働き手の漁師である船子（^{ふなこ}網子）や関係者に贈られました。

反物（^{たんもの}）の状態（^{あみこ}）で贈られた万祝は漁師の妻などの手で仕立てられ、神社やお寺を参拝する際に揃いで着て行ったそうです。

万祝文化圏

万祝の分布する地域と
地域ごとの名称



祝バンテン 岩手県立水産科学館所蔵



カンバン 石巻市博物館所蔵（宮城県）



マイワイ 焼津漁業資料館所蔵（静岡県）



マイワイ 真鶴町教育委員会所蔵（神奈川県）

こんなに色々な呼び方と
図柄があったんだ！



明治時代以降、海外から新しい網や漁法が伝わったことで、日本の漁業は発展の時を迎えます。漁業会社や漁師たちは新たな漁場を開拓するために各地へ移動したため、万祝を作る房総の紺屋（染物屋）たちも、万祝の注文を取るために漁で賑わう津々浦々へ出向きました。こうした人々の移動によって万祝の文化は各地へ伝わり、青森から静岡にかけての太平洋沿岸に「万祝文化圏」ができました。

万祝には各地でいくつかの呼び方があります。東北地方の宮城県気仙沼市から岩手県南部あたりまでは「カンバン」、岩手県中部から青森県では「大漁（タイリョウ／ダイリョウ）バンテン」と呼ばれます。

東北では両袖に「大漁」の文字を入れたり、三丁格子や網目の地模様を入れるなど、房総にはないデザインが流行しました。

今を生きる万祝



万祝のデザインと染色技術を活かして
製作されたサコッシュ

現在では大漁祝いとして万祝を作ることはなくなりましたが、千葉県内には今も万祝を作り続ける紺屋（染物屋）があります。その一つが鴨川萬祝染鈴染です。

鈴染では万祝のデザインや染色技術を活かした小物の製作販売のほか、染色を体験できるワークショップなどを積極的に行うことで、万祝の知名度向上と技術の継承に取り組んでいます。



鴨川萬祝染鈴染4代目 鈴木理規氏の色差し作業

千葉大学デザイン文化計画研究室では、万祝を地域の文化的資源と捉え、万祝のデザインを地域と共有し、文化的価値を向上させるための取り組みを行っています。

その活動は、館山市立博物館などに残る万祝の型紙を撮影し、万祝の図柄をデジタル化する記録・保存と、そのデータを活用することです。

万祝図柄のデータは、それをもとにレーザーカッターで複製型紙を作って鈴染へ提供したり、万祝型のプリント体験などに使用されます。

また、令和5年（2023）には万祝図柄データを再構成し、「千葉の海 ブランドデザイン」を制作しました。



万祝型紙から起こしたデザインを使用した小物



「千葉の海 ブランドデザイン」パッケージデザイン

ネロルからの挑戦状



万祝展 公式キャラクター ネロル

まいわいはくらんがい
やっほー！万祝博覧会にようこそ！

まいわい
万祝に^だくわしいネロルが、みんなに^みもんだいを^だ出すよ。

てんじしつで^みほんものを見て、なぞときに^だちょうせんしてね！

もんだい
1



地曳網絵馬 玉前神社所蔵

むかしの大漁がえがかれている大きな
絵馬。大漁だったのはなんの魚かな？

もんだい
2

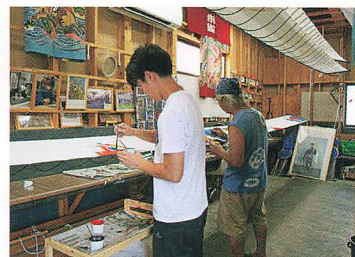


まいわい
万祝のあった
ちいき

あお
青くぬられた
うみ
海ぞいでは漁師

さんが万祝を着ていたよ。日本列島の
東にひろがるこの海の名前はなんだろう？

もんだい
3



鈴染さんの万祝づくり

万祝などを作るそめ物屋さんのことを
「紺屋」というよ。「こんや」のほかには、
なんと読むんだろう？

もんだい
4



八戸市博物館所蔵

これはタイリョウバンテンと呼ばれる青森県の万祝。
背中にかかれたマークはなんと読むのかな？

やま③

もんだい
5



石巻市博物館所蔵

このカンバンは宮城県
の万祝。マグロのほかにも
赤い魚が描かれているよ。
なんという魚だろう？

① ②

もんだい
6



千葉県立中央博物館所蔵

古くなった万祝をふとんに
作りなおしたマイワイドテ
ラ。もこもことぶあつい見
ただけど、中にはなにが
入っているんだろう？

⑥ ①

すうじ
数字のところに文字を入れて
案内所にもってきてね



①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
---	---	---	---	---	---	---

イワシは万祝の母

江戸時代の終わりごろ、九十九里や銚子では何年も続けてイワシが大漁でした。イワシは肥料として高く売れたので、そのお祝いに、万祝を作りはじめたと考えられます。

染物職人 紺屋

紺屋（こうや／こんや）は染物屋さんです。昔はあちこちにたくさん、そこで万祝も作っていました。県内には今も紺屋さんが残っています。

えが描かれた魚たち

万祝の裾には色々な種類の魚などが描かれています。マグロやタイ、ブリなどはよく描かれますが、小さくて描きにくいのか、イワシはあまり描かれていません。

万祝は千葉県生まれ？

万祝は江戸時代の終わりごろの千葉県で生まれたと考えられています。その後、東北地方から東海地方までの太平洋沿岸に広がっていきました。

かもん 家紋と家印

万祝の背中に描かれているマークは家ごとのマークである家紋や、家の持ち物や商品につける家印です。自分のマークを見せることで、漁の上手さを自慢しました。

万祝のリフォーム

万祝はお祝いの着物ですが、古くなると作業着や防寒着、ドテラと呼ばれるふとんなどにリフォームされました。ふとんは裾に布を足し、中に厚いわたをいれました。



悪い



良い

令和6年度特別展「万祝博覧会—海をまとう—」 お客様アンケート

本日はご来館ありがとうございます。今後の活動の参考にさせていただきますので、以下の質問にお答えください。

(1) 来館日

令和6年 月 日

(2) 年齢

☐ 就学前 ☐ 小学生 ☐ 中学生 ☐ 10代 ☐ 20代 ☐ 30代 ☐ 40代 ☐ 50代 ☐ 60代 ☐ 70代以上

(3) 性別

☐ 男性 ☐ 女性 ☐ その他

(4) 【住所】千葉市内の方は、区名を以下からお選びください。

☐ 中央区 ☐ 若葉区 ☐ 美浜区 ☐ 稲毛区 ☐ 緑区 ☐ 花見川区

(5) 【住所】千葉市以外の千葉県内の方は、市町村名をお書きください。

市・町・村

(6) 【住所】千葉県外の方は、都道府県と市町村名をお書きください。

都・道・府・県

市・町・村

(7) 【住所】海外の方は、国名をお書きください。

(8) 当館へのご来館は今日で何回目ですか？

☐ 初めて ☐ 2回目 ☐ 3回目 ☐ 4回目以上

(9) 2回目以上の方にお聞きします。前回ご来館されたのはいつですか？

☐ 1年以内 ☐ 1～2年前 ☐ 3～4年前 ☐ 5年以上前

(10) ご来館の前にこの展示のことを知っていましたか？

☐ 知っていた ☐ 知らなかった

(11) 上の設問で「知っていた」とお答えの方は、この展示を何でお知りになりましたか？（いくつでも）

☐ 新聞（新聞名： ） ☐ 雑誌（雑誌名： ） ☐ テレビ（番組名： ）

☐ ラジオ（番組名： ） ☐ ポスター ☐ チラシ

☐ 当館のウェブサイト・メルマガ ☐ 他のウェブサイト ☐ SNS（X（旧Twitter）・フェイスブック・インスタグラム・その他）

☐ 当館の年間行事案内 ☐ 県民だより ☐ 以前来館して知った

☐ 家族・先生・知人から聞いた ☐ その他（ ）

(12) 上の設問で「ポスター」または「チラシ」と回答した方は、見た場所をお書きください。（いくつでも）

☐ 保育園 ☐ 幼稚園 ☐ 小学校 ☐ 他の博物館 ☐ 図書館 ☐ 道の駅

☐ 県民の森 ☐ 文化会館 ☐ 公民館 ☐ 公園 ☐ 観光協会 ☐ アリオ

☐ イオン ☐ 銀行 ☐ その他（ ）



悪い



良い

(13) ご来館の理由をお聞かせください。

☐ この博物館に興味があった

☐ 今回の展示の内容に興味があった

☐ 学校の学習

☐ 観光で立ち寄った

☐ その他

(14) 上の設問で「その他」を選んだ方は、ご来館の理由をお書きください。

特別展「万祝博覧会―海をまとう―」について

(15) 「万祝博覧会―海をまとう―」の展示テーマ（企画）はいかがでしたか？

☐ とてもよい

☐ よい

☐ どちらともいえない

☐ つまらない

☐ とてもつまらない

(16) 「万祝博覧会―海をまとう―」の展示パネルの文章など、展示のわかりやすさはいかがでしたか？

☐ むずかしすぎる

☐ むずかしい

☐ ちょうどよい

☐ やさしい

☐ やさしすぎる

(17) 「万祝博覧会―海をまとう―」の全体的な感想はいかがでしたか？

☐ 非常に満足

☐ 満足

☐ どちらともいえない

☐ 不満

☐ 非常に不満

(18) 「万祝博覧会―海をまとう―」をお知り合いの方に紹介したいと思いますか？

☐ 紹介したい

☐ 紹介しようとは思わない

(19) 「万祝博覧会―海をまとう―」の展示室の照明はいかがでしたか？

☐ 明るすぎる

☐ ちょうどよい

☐ 暗すぎる

(20) 「万祝博覧会―海をまとう―」の展示室の大きさはいかがでしたか？

☐ 大きすぎる

☐ ちょうどよい

☐ 小さすぎる

(21) 「万祝博覧会―海をまとう―」の展示のデザインについて、具体的に思ったことをお書きください。

(22) 「万祝博覧会―海をまとう―」のその他、改善すべき点があればお書きください。

(23) 「万祝博覧会―海をまとう―」をご覧になって、もっとも関心をもたれた展示物はどれでしょうか。

=====
 以下は、当館の常設展や今後についてお書きください。

(24) その他、ご感想、常設展示や館内設備等へのご意見・ご要望があればお書きください。

(25) 今後の中央博物館（リニューアル予定）に期待することがあれば自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。またのご来館をお待ちしております。